

報道関係各位

2019年10月2日

モリタエコノス プレス式塵芥収集車 プレスマスターPB7 型
「2019年度グッドデザイン賞」を受賞

株式会社モリタホールディングス

当社(本社:大阪・東京、代表取締役:尾形和美、東証 1 部)と、当社の連結子会社である株式会社モリタエコノス(本社:兵庫、代表取締役:白井幸喜)が開発した「プレス式塵芥収集車 プレスマスターPB7 型」が、公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2019 年度グッドデザイン賞」を受賞しました。



GOOD DESIGN
AWARD 2019



■受賞製品「プレス式塵芥収集車 プレスマスターPB7 型」について

プレスマスターPB7 型は、ゴミ収集の効率化と負担軽減、安全性の改善を目指したプレス式塵芥収集車です。当社独自のハイマウントリアパネルに灯火器と表示器類を集約し、後方からの視認性を高め安全性を向上。ボディはクラス最大 8.2 m³で高圧縮積込みに耐える頑強な構造となっています。また、後部扉はアシスト機構とバー形状ハンドルにより片手で開閉可能な軽さを実現。地上高 750mm の投入口により、収集作業時の負担を軽減します。

■デザインに込めた思い

ゴミ収集車は人々の暮らしや街を清潔に保つために重要な役割を持つクルマです。プレスマスターPB7 型は、信頼感のある力強い機能的造形で働くクルマのカッコよさを追求すると共に景観と共生するクルマを目指しました。働く人に喜びや誇りを抱いていただき、「あのゴミ収集車が来たら街を綺麗にしてくれる」と地域の人や社会から期待される存在となることを願っています。

■審査委員の評価コメント

人手不足が深刻な業界に、一筋の希望と課題解決をもたらすデザインと言えるだろう。環境問題深刻化し、ゴミ処理のニーズが増え続ける現代社会においても、働く人が誇りを持てるデザインの存在価値は高い。地域社会や景観との共生を図る上で、これは本当に大事な価値を提供している。願わくば、子どもたちの憧れにもなって欲しい。ゴミ収集作業の使い勝手も大変良く、表示灯の移設やバケットの低床化など安全対策が行き届いた設計も高く評価したい。

■グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957年に創設されたグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本で唯一の総合的な世界的デザイン評価・推奨の運動です。グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれています。



本件に関するお問合せ先
株式会社モリタホールディングス 広報室 担当:森田
TEL:03-6400-3485